

そうじの力だより

VOL.233



支援レポート

社員の創意工夫する力は環境整備で培う！
〜業界トップ企業の健全な危機感〜

企業用ITサーバーの第三者保守で業界トップのデータライブ(株)の環境整備(整理・整頓・清掃)のお手伝いはじめて六年になります。

ITサーバーは、購入後五年間はメーカーの保守がついていますが、その後も使い続けるためには、不具合時に対応してくれる保守業者と契約を結ぶ必要があります。

企業活動のデジタル化が進む中で、第三者保守の需要は大きく伸びており、その波に乗った同社は現在、急成長しています。

保守業務においてカギとなるのは、保守部品(交換用のサーバー機器類)のストックです。同社は埼玉県久喜市に東京ドームのグラウンドと同じくらいの広さのストックヤードを有し、顧客の要望に応える万全の体制を整えています。

このストックヤードを中心に、同社の環境整備活動は進められています。

実はこのヤードは、約一年前に移転したばかりの旧ヤードから環境整備に取り

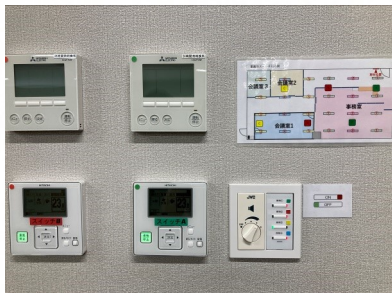


絵を取り入れたフォークリフトの駐車ライン

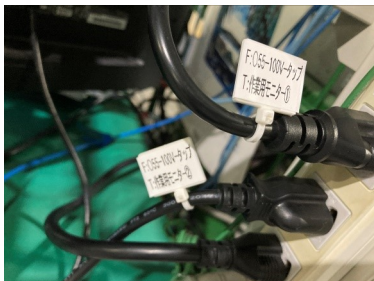
組んでいたもので、その知見を活かして、あらかじめ新ヤードで整理・整頓・清掃に取り組んでいます。

そこで特に力を入れているのが、標準化と統一化です。社員数が二百人を超える中で、「誰でもわかる」「同等以上の質を保てる」ように、工夫を重ねています。

たとえば、事務所の照明とエアコン、換気装置のスイッチについては、どれがどれに対応するのかすぐわかるように、色分けして表示をしています。パソコンなどの配線にはタグをつけて、どの配線がどこに通じているのかを明示しています。その際、「F(From)どこか」と「T(To)どこへ」という表示をすることで、接続元と接続先が明確にわかるようにし



照明とエアコンのスイッチに色分け表示



配線をF(From)とT(To)でタグ付け

ています。これは、ネットワーク機器を整備する際にやっている手法だそうです。さすが専門家ですね。

それから、看板や標識をすべて統一化するべく、動いています。



ピクトグラム+日本語+英語の標識

「ピクトグラム+日本語+英語」を標準にすることになりました。これは、将来の海外展開もにらんで、国籍や母国語を問わずわかるように、という発想から導き出されたものです。

同様に、フォークリフトの駐車位置を定めるときも、単にラインを引いて言葉で表示するだけでなく、フォークリフトの絵を描いて、視覚的にわかるようにしました。



ヤードの床掃除はお掃除ロボットにお任せ

この厳しい時代を生き抜くのは、社員の「気づく力」と「創意工夫する力」を高めて生産性を上げた企業のみだ。それを学ぶ場が、環境整備だ。そして、やるからには楽しくやろう。楽しくやらなければ、続かないし、良い活動にはならない。国内では圧倒的なシェアを誇る同社ですが、トップがこうした健全な危機感を持っている限り、まだまだ成長は続いていくことでしょう。(小早)

環境整備はなにも、すべてを自ら汗水たらしで行うことをよしとするものではなく、外注できるものや機械に任せられるものは任せて、自分たちにはできないことに注力する方が、より実りが多いと考えます。

一方で、社内だけでなく、地域清掃にも積極的に取り組んでいます。こちらは、公共の場だからといって他人任せにせず、自ら行うことで、気づく力を高め、コミュニケーションの活性化を図っているのです。

山田和人社長は、環境整備委員会、以下のように訓示しています。

「これから人手不足を主な原因とする大量倒産時代が来る。つい最近、大手のシステムインテグレーター(開発業者)が同業者を吸収したが、それはプロジェクトマネージャーの人材不足を補いたいという目的があるようだ。」

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

茶室とそうじ

〜整理・整頓・清掃の極意は茶道に学ぶ〜

先日、ある勉強会で、茶道裏千家の准教授である女性とご一緒し、そこで興味深いことをお聞きしました。

参加者が一通り自己紹介した後の休憩時間に、その方が私のところに来られて、以下のような趣旨のことをお話しされたのです。

「私は以前は片づけがとて苦手で、家の中もグチャグチャでした。

でも、茶道を習うようになってから、以前ほど苦手ではなくなり、どうにか片づけができるようになってきました。

というのも、茶室においては、まず、無駄なものが一切ありません。対して自宅には、使ってもいないようなものがたくさんあります。だから、そうした無駄なものを捨てればいいのかと気づきました。



そして、茶室で必要なものは、すべて、置く位置が定められています。しまう場所と使う場所が、きちんと決められています。だから、家でも、モノをしまう場所をきちんと決めればいいのかと理解できました。

さらに、茶室の庭は常に掃き清められ、室内は常に拭き清められています。清浄な空間があるからこそ、茶の湯において重要視されている「心の落ち着きや」と思います。

必要なもの、つまり使うものを、使いやすいように定位置を定めることを、「整頓」と言います。

無駄なものをなくし、使わなくなったものを捨てることを、「整理」と言います。



私には少し噛み砕いていますが、だいたい、このような内容でした。

なるほど、と深くうなずかずにはいられませんでした。

(小早)

編集後記

継続は力なり

昨年に引き続き、ぐんまマラソンの10kmコースに参加し、目標だった1時間を切り、57分13秒でゴールすることができました。昨年よりも50秒、記録短縮できました。

もともと走るのが苦手で、以前は絶対にこのようなことはしなかったのですが、昨年の春ごろからあるきっかけでジョギングするようになり、ゆっくりとですが、走る習慣がついてきました。

人間、苦手なことでも、続ければそれなりにできるようになるものですね。

(小早)



飛鳥のつばやき

ひとりのできるもん

小学生料理教室に行きました。

ピザを生地から作って焼くようで、親も食べる気&やる気満々で装備をキメて行ったのですが、先生の調理デモを見終わったところで、「お父さんお母さんは退場してください」コールが(親の分は無かった…(^q^))。

1年生大丈夫か…？とハラハラしながら見守っていましたが、最後まで楽しそうに参加していました。

親の手から本当に離れてきたなあ〜。(大概)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝整理・整頓」を通

じた「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！